

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	ESD術前に他臓器悪性腫瘍スクリーニング目的に施行したCTの有用性に関する検討
研究責任者	山本 信三
研究機関名	日本赤十字社医療センター 消化器内科
研究目的と意義	早期消化管腫瘍に対する治療法として内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)と呼ばれる内視鏡治療法が確立し保険収載されていることより全国的にその治療が広く普及してきております。一方ESDによる治療の際に同時に他臓器悪性腫瘍を併存している可能性が少なからずあるため、ESD術前には他臓器悪性腫瘍に対するスクリーニングを行い、生命予後に関与する可能性が高い病変が別に指摘された場合にはその治療を優先する必要があると考えられます。そこで今回当院では診療情報を用いてESD術前に他臓器悪性腫瘍スクリーニング目的に施行したCTの有用性を検討するに臨床研究を行うことと致しました。
研究方法	この研究はこれまでに日常診療上必要であった検査や治療のために行った過去の検査結果を調べる研究です。具体的には2015年1月～2022年8月までの間に当院で早期消化管腫瘍に対して内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を受け、かつ術前にCT検査を受診して頂いた患者さんを対象として診療録(カルテ)より得られる様々な情報(具体的には患者ID、年齢、性別、既往歴、内服薬、術前に施行したCT所見、内視鏡所見(部位、大きさ、肉眼型)、病理所見(組織像、深達度、リンパ管・静脈侵襲、水平断端・垂直断端)、ESD治療日、一括切除の有無、治療切除の有無、入院日数、合併症(出血、穿孔・腹膜炎等)、輸血の有無、術前CTで指摘された他悪性腫瘍の診断名・stage・治療経過、早期消化管腫瘍及び術前CTで指摘された他悪性腫瘍の転帰)を用いて術前にCTにより他臓器悪性腫瘍をスクリーニングを行う意義に関して解析します。従って患者さんに新たに負担をお願いすることはありません。個人情報については厳重に管理され、プライバシーが漏れることがないようにデータは当院の医局・内視鏡室内で管理し、個人情報保護について細心の注意を払います。本研究によって得られた結果に関しては今後関連する学会での報告を予定しております。もし本研究への参加をご希望されない場合には今回の研究の対象とは致しませんので下記問い合わせ先にお申し出下さい。お申し出になられても診療を受けるうえで不利益を被ることはございません。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 消化器内科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者： 山本 信三 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604